

第2学年 保健体育科学習指導案 (例：高等学校)

\*球技を第2学年と第3学年で  
取り上げる例を示す。

平成〇〇年△△月□□日 ◇曜日 ▽校時  
第2学年△・◇組(男子〇〇名、女子△△名)  
場 所 ○ ○ ○ ○  
指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 球技(ネット型：バレーボール)

※「領域」「型：種目」または「種目」を記載する。

2 単元の目標 (第2学年及び第3学年の第2学年分)

\*( )は第3学年で取り上げる内容

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて、ゲームが展開できるようにする。  
・ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開すること。(技能)
- (2) バレーボールに主体的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、(合意形成に貢献しようとする)などや、健康・安全を確保することができるようにする。(態度)
- (3) バレーボールの技術の名称や行い方、体力の高め方、(課題解決の方法)、競技会の仕方などを理解し、チームや自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

※学習指導要領を踏まえ、本単元で生徒に身に付けさせたい力を明確にする。

※単元の評価規準との整合を図る。

※「学習指導要領の内容」から語尾を「~できるようにする」に変えて記載する。

※技能、態度、知識、思考・判断の順で表示する。

3 運動の一般的特性

その領域や内容の運動の特性を明記する。

4 生徒の実態

(1) 運動の特性に触れる楽しさ体験状況

生徒のこれまでの運動経験や日常的な運動活動について、この単元にかかわる内容を明記する。

(2) 知識、思考・判断に関する学習体験状況

これまでの体育学習において、「知識、思考・判断」の内容はどのような指導が行われ、学習を進めるに当たって必要な力がどの程度身に付いているかを明記する。

(3) 技能(運動)の習得状況

これまでの体験において「技能」の内容はどの程度身に付いているのか。また、体験にかかわる具体的な人数等を明記する。(保健体育学習、部活動等)

\*2学年ごとに指導内容が示されているので、当該学年の系統性を踏まえた記述を加える。

(第2学年であれば、第1学年での指導及び習得状況を記述する。)

(4) 体力の状況

新体力テストのデータから単元とかかわる体力や学校として伸ばしたい体力の状況について明記する。

(5) 生徒の運動に対する思いや願い

この単元を学習するに当たって、生徒がどんな力を身に付けたいと思っているのかを明記する。

5 学習を進めるに当たって

上記の生徒の実態から、教師がどのような内容に力点を置き指導していくかを具体的に明記する。その際に、単元の目標を具現化するための教師の意図的・計画的な指導が明記されなければならない。また、体力向上に向けた具体的な取組についても明記する。

6 単元の評価規準（例）

※「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能」「知識・理解」の順で表示する。

※「●」は当該学年、「・」は当該学年以外を表示する。

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「知識・理解」については、ゴール型、ベースボール型の学習と共通で2年間に分けて指導するようにあらかじめ設定する。

「運動の技能」については、学習指導要領解説の例示を参考に、具体的な動きの例を第2学年と第3学年に分けて取り上げる。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネット型・バレーボールの学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・ フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>● 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・ 合意形成に貢献しようとしている。</li> <li>● 互いに助け合い、高め合おうとしている。</li> <li>● 健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</li> <li>・ 課題解決の過程を踏まえて、取り組んできたチームや自己の目標と成果を検証し、課題を見直している。</li> <li>・ チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>● 作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</li> <li>● 健康や安全を確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> </ul> </li> <li>・ 球技を生涯にわたって楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空間を作り出すなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネット型やバレーボールの技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>● 球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>● 競技会の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ 審判の方法について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

<p>学習活動に即した評価規準</p>	<p>①バレーボールの学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②練習の際に、記録係やキャプテン、アシスタント・ステューデントなどの役割を積極的に引き受け、責任をもって取り組もうとしている。</p> <p>③互いに助け合い、高め合おうとしている。</p> <p>④体調や環境の変化に注意しながら健康・安全を確保している。</p>	<p>①これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</p> <p>②作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</p> <p>③健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</p>	<p>①ボールを相手側のコートや守備のいない空間に緩急や高低をつけて打ち返すことができる。</p> <p>②ボールに変化をつけてねらった場所にサーブすることができる。</p> <p>③変化のあるサーブに対応してレシーブすることができる。</p> <p>④仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>⑤ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができる。</p>	<p>①バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②バレーボールに必要な体力を技能に関連させながら高めることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>③ゲームのルール、トーナメントやリーグ戦などの試合方式について、学習した具体例を挙げている。</p>
---------------------	---	--	---	--

※学習活動に即した評価規準については、単元の評価規準をより具体化した内容を表記する。  
(各学校で学校や生徒の実態等を加えて作成)

7 指導と評価の計画

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点		評価規準			
	ねらい1を実現するための学習内容及び学習活動について明記する。 オリエンテーションを含め、この単元の学習計画を作成する。また、中学校や前年度の復習を行い、実態を把握する。			関 意 態	思 判	技 能	知 理
はじめ	ねらい1：身に付けさせたい指導内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。			④			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の特性の理解</li> <li>単元目標の確認</li> <li>学習の進め方、学習カードの使い方の確認</li> <li>チーム編成等</li> <li>生徒の実態把握</li> </ul>	学習計画を作成するために必要な指導を明記する。特に、本単元における学習内容、課題設定の仕方・課題解決に向けた練習方法の工夫等については十分指導が必要である。	重点項目 健康・安全 緩急や高低 技術の名称や行 い方			①	①
なか	ねらい2：身に付けさせたい学習内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。				①		
	ねらい2を実現するための学習内容及び学習活動について明記する。 学習内容 ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。	ねらいの実現に向けた学習が行われているかを評価し、一斉・グループ指導や個別指導等において予想される留意点を明記する。	重点項目 課題の設定 責任 狙った場所へのサーブ サーブレシーブ 協力 バレーボールに必要な体力 ブロック			②	③
本時				②			
7				③			②
}	学習内容 ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。	ねらいの実現に向けた学習が行われているかを評価し、一斉・グループ指導や個別指導等において予想される留意点を明記する。					②
	1 学習活動					④	
まとめ	ねらい3：身に付けさせたい指導内容や具体的な「ゲームの様相」等を明記する。				②		③
	本単元の学習によってどんな力が身に付いたかを具体的に確認できる指導内容及び学習活動を明記する。	本単元の学習によってどんな力が身に付いたかを具体的に確認できる指導内容及び学習活動を明記する。	重点項目 合意形成 ルール試合方式 カバーリング 主体性 体調への気付き	①		⑤	
10							
14				③			

※生徒の実態に応じて、どのような段階で意図的・計画的に指導していけば、単元の目標を実現することができるかを予測したものにしなければならない。また、「学習を進めるに当たって」の中で記述した体力向上の内容についても位置付ける。

※単元の学習計画の中に評価計画を入れる。

□ 「評価機会」等設定の留意点(効果的・効率的評価)

- ・ 1時間の授業で評価項目は1つか2つ
- ・ 観察評価は、原則として1時間に1観点

評価の観点	評価時期	主な評価方法
関心・意欲・態度	指導日の後、一定期間	観察・学習ノート
思考・判断	指導した日	学習ノート・発言・定期考査
運動の技能	指導日の後、一定期間	観察・学習ノート
知識・理解	指導した日	学習ノート・発言・定期考査

8 本時の学習 (7 / 14 時間)

※学習活動に即した評価規準との整合を図る。  
 ※「~できるようにする」に変えて記載する。  
 ※2つ以上ある場合は、主とした目標をゴシック体で表記する。

(1) 本時の目標

- 互いに助け合い、高め合おうとしている。 (態度③)

(2) 本時の学習評価

- バレーボールに必要な体力を技能に関連させながら高めることについて、言ったり書き出したりしている。

(知識・理解②)

9 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	○：評価項目【Aの例】(評価方法)	「努力を要する」状況と判断される生徒の手立て
はじめ (5)	<p>本時の目標を実現するために、どのような学習内容や学習活動を仕組んでいくのかを具体的に明記する。                      ・学習活動に即した評価規準との整合を図る。</p> <p>1 集合、整列、挨拶、出欠確認、健康観察</p> <p>2 本時の学習内容と課題の確認</p>	<p>本時の目標を実現するために、どのような指導を行うかを具体的に明記する。                      ・学習内容や学習活動に応じた留意点を明記する。</p> <p>・学習カードをもとに本時の学習内容を確認させ、学習意欲をもたせる。</p>	<p>本時の評価項目に対して、具体的にどのような姿を評価するのか、またどんな方法で評価するのかを具体的に明記する。</p> <p>◆バレーボールに必要な体力を技能に関連させながら高めることについて、言ったり書き出したりしている。                      (知識・理解②)</p>	<p>評価の視点で「C」と判断しなければならない生徒が出てきたときの具体的な手立てを明記する。</p> <p>◆資料等を用いて具体的に示す。</p>
なか (35)	<p>学習内容の明記</p> <p>3 変化のあるサーブに対するレシーブの練習</p>	<p>・変化のあるサーブや相手との対峙を両腕が動きやすいように、動きを解させる。</p>	<p>【Aの例】説明することができる。                      (観察・学習カード)</p>	
まとめ (10)	<p>4 課題を明確にしたゲーム</p> <p>5 整理運動</p> <p>6 本時の反省、次時の確認</p> <p>7 整列、挨拶</p>	<p>・練習した技能等を生かしているか意識させる。</p> <p>・課題が達成されたか確認させ、次の課題を設定させる。</p>	<p>学習カードの中に、その時間の評価項目に関する内容を準備しておく。できれば、本時のねらいに合わせて、毎時間学習カードが工夫されていることが望ましい。</p>	

※本時の目標と評価項目の整合を図らなければ、意図的・計画的な学習とはいえない。また、体力向上についても、「学習を進めるに当たって」「単元の学習計画」との整合を図りながら明記する。